



カラス等の野生動物にも警戒しましょう！

高病原性鳥インフルエンザの発生があった岩手県久慈市*では、渡り鳥であるハクチョウのほかに、留鳥であるカラス等でも高病原性鳥インフルエンザの陽性が継続して確認されています。渡り鳥の北帰行や雪解けが始まるこの時期は、野鳥による鳥インフルエンザウイルスの侵入リスクが非常に高くなっているため更なる警戒が必要です。

※久慈市での野鳥高病原性鳥インフルエンザ確認状況（2月8日～28日）
オオハクチョウ7羽、ハシブトガラス9羽、マガン、ノスリ、トビ



鳥インフルエンザの侵入防止のために
農場の防疫対策を再確認してください！！

消毒等の徹底

- 農場、鶏舎に出入りする人の着替えや車両等の着替え、消毒を徹底しましょう。
- 敷地内（鶏舎周辺等）に消石灰を散布しましょう。

野生生物の侵入防止

- 防鳥ネットに破れがないか点検しましょう。
- 畜舎周囲にエサ等の野生動物を誘うものを置かないようにしましょう。



本病を疑う症状が見られたら、速やかに家畜保健衛生所へ

- *過去3週死亡率と比べて、死亡率が2倍以上になった
- *5羽以上まとまって死亡していた
- *とさか・肉垂等の暗青色化、沈うつ、産卵率の低下 など

青森家畜保健衛生所

TEL : 017-764-1744

FAX : 017-728-0335

夜間・土日祝祭日の場合 家保携帯 : 090-2274-0474